

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	旭川紋別自動車道（一般国道450号） 愛別上川道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局	
起終点	自：北海道上川郡愛別町字愛別 至：北海道上川郡上川町字菊水			延長	17.0 km		
事業概要	旭川紋別自動車道は、北海道縦貫自動車道比布ジャンクションから分岐し、紋別市に至る延長約130 kmの一般国道の自動車専用道路であり、北海道縦貫自動車道と一体となって道央圏・道北圏とオホーツク圏を結ぶ高速交通ネットワークを形成するものである。このうち愛別上川道路は、旭川紋別自動車道の一部を形成する愛別インターチェンジから上川層雲峡インターチェンジに至る延長約17 kmの区間で、農水産品の物流の効率化や観光等の交流促進を支援し、地域産業とくらしを支える道路である。						
H3年度事業化	H-年度都市計画決定		H9年度用地着手		H10年度工事着手		
全体事業費	約492億円		事業進捗率	9.6%		供用済延長	10.0 km
計画交通量	14,900台/日						
費用対効果分析結果	B/C: (事業全体) 4.0 (残事業) 23.5	総費用: (残事業)/(事業全体) 43/600億円 (事業費:21/548億円 維持管理費:22/52億円)	総便益: (残事業)/(事業全体) 1,011/2,401億円 (走行時間短縮便益:837/2,113億円 走行費用減少便益:133/224億円 交通事故減少便益:41/63億円)	基準年: 平成17年			
感度分析の結果	事業全体について感度分析を実施 交通量変動 : B/C=4.4 (交通量 +10%) B/C=3.6 (交通量 -10%) 事業費変動 : B/C=3.7 (事業費 +10%) B/C=4.4 (事業費 -10%) 事業期間変動 : B/C=3.7 (事業期間+20%) B/C=- (事業期間-20%)						
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 国土・地域のネットワークの構築（拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する。隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する） 物流効率化の支援（農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる） 個性ある地域の形成（IC等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する） 安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる） 他8項目に該当						
関係する地方公共団体等の意見	道央圏・道北圏が高速ネットワークで結ばれ、物流・緊急医療・商圏拡大等で地域の活性化に寄与するとして、紋別市をはじめとする関係2市13町1村の首長および議会議長で構成される高規格幹線道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会他より事業促進の要望を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	旭川紋別自動車道130kmのうち、平成16年度末までに約40kmを供用している。						
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成16年度末までに10.0kmを部分供用しており、引き続き残り区間7.0kmについて整備を進める。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	引き続き事業が順調に進んだ場合、平成18年度の事業完了を予定している。						
施設の構造や工法の変更等	鋼橋の少数主桁橋の採用、建設副産物のリサイクル利用等によりコスト縮減を図っている。						
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
事業概要図							

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。